

令和2年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 (受入市町村促進事業) 〈概要版〉



令和3年3月
沖縄県

受入市町村促進事業の目的

沖縄県では、スポーツツーリズムの一環として、沖縄県に適合したスポーツツーリズムのあり方や必要施策を定めた「スポーツツーリズム誘致戦略」に基づきサッカーキャンプ誘致等の取り組みを展開するとともに、経済効果等の実証調査を行ってきた。

サッカーキャンプの要件として「良好な芝生環境」が求められることから、誘致におけるインフラ整備として、受入市町村の新たな創出に取り組み、キャンプ実施希望のクラブ受入れを行う。

また、グラウンド巡回支援を通して、県内グラウンド芝生管理者との情報共有を図り、沖縄県全域におけるグラウンド芝生環境の向上に寄与する。

巡回支援事業（県内各施設）

県内各施設を巡回し支援していく、巡回支援事業において、これまでと同様にサッカーキャンプを実施する全ての施設において、土壌調査、クオリティ調査を実施させて頂いた。調査については4年間継続してデータを集積する事により、土壌の経時的な変化を確認する事ができた。また、変化に応じて各施設の管理方法を提案してきたが、これらのデータが活かされた施設が多く見られた。

今後もこのデータを各施設の管理に役立てて頂きたい。



土壌調査



クオリティ調査

今年度の巡回支援事業として、昨年度までの土壌調査によるデータをもとに、品質を向上させたい施設について、作業や資材の提供など様々な形で支援を実施し、品質の向上に繋げた。

◎本部町運動公園



2020年1月



2021年1月

昨年度まで本部町運動公園では、寒地型芝草の種子を播くウインターオーバーシード※と呼ばれる工法を活用してこなかった。

今年度は、巡回支援事業の一環でウインターオーバーシード工法を実践した。上記写真は、2020年度と2021年度の比較である。寒地型芝草により鮮やかな緑が広がり、芝生の品質向上はもちろん、選手のプレーする環境の品質も向上させる事ができた。例年ヴァンラーレ八戸のキャンプを受け入れているが、今年度は湘南ベルマーレのキャンプも実施する事ができた。これは、ウインターオーバーシード工法による品質向上が大きく影響していると言える。



※ウインターオーバーシード…暖地型芝草の上に、秋季に寒地型芝草（ペレニアルライグラスなど）の種子を播種して、秋季から春季に常緑を保ち、ターフのクッション性、プレーコンディション、美観を確保する管理手法のこと。

◎かいぎんフィールド国頭



これまでの土壌調査により、土壌の硬さが課題となっており、土壌硬度緩和のためシャッターリングという作業を試みた。シャッターリング作業を実施した事で、硬さが緩和され芝生の生育環境が好転し、根の伸張が促進された。また、排水機能についても一時的ではあるが改善が見られた。課題解決に向けて、管理作業による支援が実施できた。

沖縄サッカーキャンプ2021

2021年1～2月にて、県内各地でサッカーキャンプが実施された。

今年度は新型コロナウイルス感染対策もあり、無観客での実施となった事で例年の盛り上がりはなかったが、選手のトレーニングに対する姿勢は例年同様に集中しているように感じられた。



本部町運動公園



恩納村赤間サッカー場



タビック県総ひやごんスタジアム



中城村ごさまる陸上競技場



南風原町美金森陸上競技場



南城市陸上競技場



八重瀬町東風平サッカー場



豊見城陸上競技場



石垣市サッカーパークあかんま

今年度、沖縄県でのJリーグクラブのキャンプは、コロナ禍の状況にありながらも、昨年と同数の20クラブによって行われた。これは、沖縄県が取り組んできたサッカーキャンプの誘致促進のための練習環境向上を目指す本事業などの各種施策がJリーグを始めとするサッカークラブから評価され、キャンプ地として認知が高まってきた結果と言える。この状況をさらに発展できるように、引き続き真摯に取り組んでいく事が重要である。

◇令和2年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業◇
(受入市町村促進事業)

発注者：沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

TEL 098-866-2708

受託者：東洋グリーン株式会社 沖縄営業所

沖縄県島尻郡八重瀬町字伊覇144-2

TEL 098-840-7617